



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 株式会社オーブドア
 コード番号 3926 URL <https://www.opendoor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 秀明

TEL 03-5545-7215

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	886	0.4	505		412		415	
2021年3月期第3四半期	890	77.4	523		465		499	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 915百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 500百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	13.38	
2021年3月期第3四半期	16.11	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,616	5,298	94.2
2021年3月期	6,696	6,210	92.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 5,289百万円 2021年3月期 6,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	31,260,000 株	2021年3月期	31,260,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	246,430 株	2021年3月期	246,363 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	31,013,594 株	2021年3月期3Q	31,013,637 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで感染者数も減少傾向となり、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きがみられました。しかしながら、新たな変異株による感染再拡大の影響が懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

海外旅行市場に関しては、新型コロナウイルス感染拡大による海外渡航制限等が続き、旅行需要は著しく低い水準で推移しております。また、国内旅行市場に関しても、新型コロナウイルス感染の影響が続いており、従来と比べ旅行需要は大きく減少しております。(出所：観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」)

このような状況のもと、当社の旅行関連事業におきましては、旅行需要の回復を見据え、引き続きユーザー利便性向上のための積極的なシステム開発を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高886,454千円(前年同期比0.4%減)、営業損失505,931千円(前年同期は523,708千円の営業損失)、経常損失412,737千円(前年同期は465,342千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失415,106千円(前年同期は499,781千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントの業績については記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,616,802千円(前連結会計年度末比1,079,272千円減少)となりました。これは主に、現金及び預金が189,030千円増加したものの、未収還付法人税等が461,603千円、投資有価証券が721,250千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は318,526千円(前連結会計年度末比167,310千円減少)となりました。これは主に、その他流動負債が52,438千円増加したものの、繰延税金負債が221,447千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,298,275千円(前連結会計年度末比911,961千円減少)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失415,106千円を計上したことに加え、その他有価証券評価差額金が500,403千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナによる旅行市場への影響を予測することが困難なため、2022年3月期の業績を適正かつ合理的に予測することが難しい状況であります。そのため、2022年3月期の業績予想については現時点において『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,918,379	3,107,410
売掛金	157,300	222,256
未収還付法人税等	461,626	22
その他	169,460	61,881
貸倒引当金	△101	△49
流動資産合計	3,706,665	3,391,522
固定資産		
有形固定資産	124,394	89,445
無形固定資産	3,202	1,731
投資その他の資産		
投資有価証券	2,568,085	1,846,835
その他	293,727	287,267
投資その他の資産合計	2,861,812	2,134,102
固定資産合計	2,989,409	2,225,279
資産合計	6,696,074	5,616,802
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,234	9,843
その他	110,199	162,637
流動負債合計	117,433	172,481
固定負債		
繰延税金負債	324,892	103,445
資産除去債務	40,400	40,400
その他	3,110	2,200
固定負債合計	368,403	146,045
負債合計	485,837	318,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,292	648,292
資本剰余金	473,388	473,388
利益剰余金	4,366,084	3,950,978
自己株式	△17,445	△17,610
株主資本合計	5,470,319	5,055,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734,611	234,207
その他の包括利益累計額合計	734,611	234,207
新株予約権	5,306	9,019
純資産合計	6,210,237	5,298,275
負債純資産合計	6,696,074	5,616,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	890,373	886,454
売上原価	477,966	496,233
売上総利益	412,406	390,220
販売費及び一般管理費	936,115	896,152
営業損失(△)	△523,708	△505,931
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	-	150
為替差益	-	86
保険配当金	1,196	0
助成金収入	57,304	90,480
その他	16	2,471
営業外収益合計	58,518	93,194
営業外費用		
為替差損	151	-
営業外費用合計	151	-
経常損失(△)	△465,342	△412,737
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,342	△412,737
法人税、住民税及び事業税	5,709	2,970
法人税等調整額	28,729	△600
法人税等合計	34,439	2,369
四半期純損失(△)	△499,781	△415,106
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△499,781	△415,106

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△499,781	△415,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,019	△500,403
その他の包括利益合計	△1,019	△500,403
四半期包括利益	△500,801	△915,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△500,801	△915,509

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生及び重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。